まつさか香肌峡新聞

全国でも5本の指に入る「まずい計画」!?

～日本自然保護協会　若松氏が現地視察でコメント～

8/31、9/1に(公財)日本自然保護協会の若松伸彦氏(協会 保護チーム室長・環境学 博士)をご案内し、計画地である迷岳周辺、木梶山を現地視察しました。

夕刊三重　2022年（令和4年）9月5日　月曜日　第20553号　日刊（日曜、祝日除く）

飯高地域の風力発電事業計画

「全国5指に入るまずさ」

自然保護協の若松博士指摘

現地視察、学会でも注目したい

希少な生態系、

風力発電の計画地を視察する若松博士（左）ら＝松阪市飯高地域で

夕刊三重

発行所　夕刊三重新聞社

全国で400件ほどもある風力発電計画の中でも、飯高地域の計画は5本の指に入る『まずい計画』であるため、直接現地に確認に来ました

＜9月5日付夕刊三重1面にも掲載されました！＞

＊Aエリアは植生自然度が最高水準である9(最高が10)の地域。
『事業者の自然環境への配慮が足りない。』

＊生物では特にイヌワシ、クマタカへの影響を懸念。
イヌワシは全国で500羽程度しか生息していない大変希少な生物。

＊黒色片岩が含まれ、かなりもろい地質である（Cエリア）

＊こんな急峻な地形に建設しようという計画を他でも見たことがない。

発行：まつさか香肌峡環境対策委員会
より詳しい情報はHPにて！
https://www.kahadakyo-eco.com/

請願　いよいよ9月議会へ上程！

6月議会において上程が見送られた請願ですが(文言の修正のため請願を再提出した経緯、本紙6号に記載)、**9月議会において無事に本会議へ上程されることとなりました。**

傍聴に来られる方を募集しています！

[今後の日程]
9/14（水）：本会議に請願上程
10/ 5（水）：環境福祉委員会にて審議
10/19（水）：本会議にて議決

10月19日に本会議で議決される際の傍聴に来られる方を募集しています。我々の願いが松阪市議会にて議決される、その歴史的瞬間にお立合い頂ける方は、是非各住自協の事務局長さんへお申し出下さい。

裏面あります！

武田恵世先生による勉強会　開催報告！

①どんな勉強会だったの？

8月21日、全国の風力発電計画に詳しい武田恵世先生(三重県伊賀市在住)をお迎えし、風力発電の諸問題について語って頂きました。当日は地元住民の方々を中心に**30名以上の方**が参加されました。

[主な内容]

＊風力発電は風まかせなので、火力発電のバックアップが必要。風力発電の発電の波に合わせて火力発電が自動車の急発進/急停車のように運転すると、CO2排出量はより増えてしまい、地球温暖化防止にならない。

＊実際に低周波音により和歌山県で頭痛、不眠を訴えられた方の事例紹介

＊青山高原での土砂崩れの事例紹介

＊地権者にとっても、20年後にちゃんと原状復帰するかどうかわからないというリスクが大きい

②参加者の反応は？

質疑応答では「計画を止めるには実際どうすればいいの？」という心配の声や、「風力以外で見込みのある自然エネルギーは？」など、活発な質問、意見が飛び出し、皆さんの関心の高さが伺えました。

2月提出の質問状に対し、ようやく事業者より回答

（今までの経緯）

2月28日付：当委員会より事業者へ向けて、98項目の質問状を送付。

3月31日付：事業者から「個別の回答は差し控えさせていただきます」との文書を受けとり、**「回答なし」**という結果でした。（本紙第4号に記載）

去る8月9日、事業者から3住自協に向けて「まつさか香肌峡環境対策委員会質問状への回答」が手渡されました。

曰く「以前から質問状への回答はできておりましたが、5月の総会で委員会が正式に住自協の組織となられたということで、改めて回答を提出させて頂きます」とのこと。内容については、98項目の質問にそれぞれ回答が記されておりますが、いずれも具体性を欠く内容で、委員会からは再度意見を投げかける予定です。

みなさまからのご意見をお聞かせ下さい！--9月末締切

事業者からの質問状への回答は、ホームページまたは各住自協の事務局にてご覧頂けます。是非ご一読の上、住自協事務局に備え付けの記入用紙、またはメールにて、**質問状への回答に対する皆さまのご意見をお寄せ下さい！**